

卸売業

回答企業29企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比6.9ポイント上昇の▲27.6とやや改善したが、前回調査予想値(0.0)を大きく下回る結果となった。項目別では、売上・受注で10.3ポイント上昇の▲17.3、売上数量は17.3ポイント低下の▲48.3、利益でも13.8ポイント低下の▲34.5となった。
 さくら祭りやゴールデンウィークの人流増による消費拡大に期待感あったが、仕入・原材料価格や燃料費・電気代の高騰もあり業況は低迷した。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

鮮魚卸売は漁獲高の減少や大手スーパーの倒産等の影響を受け、売上高・利益とも減少傾向にある。
 建設資材卸売業は、資材高騰が続いており売上高も減少傾向となり、利益確保が難しい状況。
 主力商品であるりんごについては、品薄から仕入価格、販売価格とも高値で推移。売上高は減少しているが、利益確保が見込まれているものの、運賃や資材高騰の影響もあり減少傾向。

来期の見通し

～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比17.2ポイント低下の▲44.8と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で13.7ポイント低下の▲31.0、売上数量は3.5ポイント上昇の▲44.8、利益でも13.8ポイント低下の▲48.3と悪化の見込みとなった。
 食品・アルコール類は夏祭りやイベントへの期待感もあるが、総体的には各業種とも業況は厳しい見通しとなる。



小売業

回答企業91企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比16.5ポイント上昇の▲3.3、前回調査予想値(▲3.3)と同様の結果となった。項目別では、売上・受注で17.6ポイント上昇の▲6.6、売上数量が15.4ポイント上昇の▲9.9、利益でも17.6ポイント上昇の▲12.1となり、すべての項目で改善となった。
 さくら祭りやゴールデンウィークの影響もあり、食料品・アルコールを主体に好調に推移した。

分野別の状況

～総合的業況はやや改善で推移～

酒類小売業は、さくら祭りやゴールデンウィークの影響を受け売上高は好調に推移した。
 衣料品やスポーツ店においては、児童減少の影響から学校指定のジャージ等の売上が年々減少している。
 洋菓子販売は、さくら祭り期間中観光客を中心に、アップルの売上が好調であった。
 燃料等小売業は、灯油の需要期が終了し総じて低調に推移している。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比6.6ポイント低下の▲9.9と、やや悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で2.2ポイント低下の▲8.8、売上数量は1.1ポイント上昇の▲8.8、利益でも3.3ポイント上昇の▲8.8となった。
 祭りや夏休みシーズンを迎えるにあたり、各事業者とも期待感を持っているものの、物価上昇による消費低迷を見込んでいる状況。

